



ニュース & トピックス

保護者面談について

トライアングルでは、これまでのお子様の表れや、今後の在り方について、今月も保護者面談を実施します。面談は、トライアングルが静岡大学の村上 弘美先生、ぱっそは静岡大学の畠垣 智恵先生が行います。

9月の面談日程は、スケジュールが決まり次第、各教室に掲示します。

面談を希望される方は、トライアングル・ぱっそスタッフにお声がけください。

働く未来に向けて

中学校・高等学校卒業後の進路と一緒に考えてみませんか？将来に向けた進路選択の話と、思春期・青年期に大切な性の話をします。

日時

10月12日（日）

午前 10：00～12：00

場所

福祉型大学校カレッジまどか

静岡市駿河区馬淵3丁目16-3

TEL：054-292-7239

ご意見・ご感想をお寄せください

第36回目のニュースレター、いかがでしたか。

まだ、至らない点がたくさんあるかと思えます。今後さらに内容を充実させていくために、ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。よろしくお願いします。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

秋の

気配が少しずつ色濃くなってきたようにも思いますが、皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか？

ニュースレター第36号をお届けいたします。今回もお楽しみいただければ幸いです。

朝晩にひんやりとした風が混じるようになってきた一方、日中はまだ汗ばむ暑さが続きます。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期ですので、どうぞお体に気をつけてお過ごしください。

夏休み、お疲れ様でした。

静岡大学人文社会科学部 教授 畠垣 智恵

保護

者の皆様、夏休みお疲れさまでした！「ようやく」「もう」「やれやれ」「あつという間」「今年は暑すぎた」「ため息」…。

夏休みに対する思いは人それぞれです。多くの子どもにとって夏休みは特別な時間で、学校や園の日常から解放され、プールやお祭り、花火に旅行。ふだんは味わえない体験がぎゅっと詰まった時間です。でも、学校がないとつまらない、早く学校へ行きたいと感じるお子さんもいるようです。反対に、学校がない日のほうが、家族が平和に過ごせるという方もいます。本当に千差万別ですね。



保護者にとっての夏休みはどうでしょう。毎日の食事づくりは増え、生活リズムは乱れやすく、猛暑の中での外出先を考えるのもひと苦労。きょうだいがいれば予定の調整も待っています。気がつけば一日があつという間に過ぎてしまい、親の体力も気力も削られていく——実は、夏休みは「頑張りどころ」がいっぱいの季節です。

さらに、忘れてはならないのが宿題です。日誌やワークブック、自由研究や工作、読書感想文。子どもが自分だけで進めてくれればよいのですが、現実にはそういうご家庭は今も昔も少数のようです。声をかけ、手伝い、時には材料をそろえるのも保護者の役割となり、「なんでもっと早く…」宿題はしばしば「親子の戦いの火種」と化し、楽しくない夏休みに一役買っている場合も。

少し余談をすれば、ヨーロッパの夏休みは日本よりずっと長い国が多くあります。フランスやイタリアでは二か月以上、スペインでは三か月近くに及ぶこともあるそうです。夏休みは休暇だと考えられているため、休暇中の宿題は無いが、軽めのドリルのみ。（そうか！夏休みは休暇だったんだ！）あとは、学校や教師の裁量によって宿題がある学校（クラス）と、ない学校（クラス）があります。休暇を利用して、美術館へ行ったりサマーキャンプなどのイベントへ参加する非公式の学びが奨励されているようです。

最近、静岡市内の小学校でも、「夏休みの宿題は生徒の自主性に任せる」「日誌は廃止。工作や書道は任意」という学校を聞くようになってきました。

どちらが良いのでしょうか。「学校からの宿題はなし。子どもと親にお任せ」は少しモヤモヤする気もしませんか。日本の家族の形も少しずつ多様になってきています。共働きが一般的となり、大人の働き方や休みの取り方も変化しつつあります。これから先は「今の日本の家庭に合った夏休みの過ごし方」や「子どもと親の両方にとって無理のない宿題のあり方」を考える時期なのかもしれません。少なくとも「親子の争いの火種」になることは避けられますように。夏休みの思い出と子どもの笑顔の裏には、保護者の踏ん張りや愛情がしっかりと息づいています。まだ残暑が厳しいようですが、夏から秋へと季節が移ろうように、親も子どももゆっくりとリズムを取り戻していけるといいですね。



8月11日に行われたトライアングル卒業生の同窓会に参加した面々

スタッフ紹介



トライアングル
小栗 一馬 先生

好きなこと：旅行に行く事が好きです。特に北海道！札幌に長く住んでいたの、現地の友人と美味しい物を食べたり、呑んだりしています。色々な美味しい物がありますが、積丹半島の雲丹は絶品です。冬の札幌は雪景色が綺麗でお勧めです!!

やりたいこと：静岡に来て、約3年経ちますが、県東部や伊豆の方に行っていないので、そちらに行けたらなと。後、清水と言えばサッカー。日本平でホーム観戦です。

一言：4月に事務局より異動してきました。事務局で子ども達のお名前は把握していたので、実際に会えて嬉しく思います。子ども達一人ひとりに沿ったサポートを出来ればと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

教室のひとこま

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



ストローのブロックを使って神社を作ったよ。お家みたいで楽しいね。



パスタオールを使ってキャッチボール。みんなで息を合わせてボールを送ります。



ブーム再来！アニメキャラクターが自分の代わりに日本を旅するすごろく。おこづかいチャンスがとて楽しいようです。



夏祭り。今年は大和教室のお子さんと一緒に盛り上がりました。楽しかったね！

子育てのヒント 独り言を言う子への関わり方

お子さんが歩きながら「きょうのおやつはなにかな」とつぶやく姿を思い浮かべてみてください。周囲の目が少し気になるかもしれませんが、その小さなつぶやきは気持ち落ち着けたり自分の考えを整理したりする大切な習慣でもあります。ただ、公共の場では声の大きさや場面に合わせる力も必要になります。そこで役立つのが『声のボリューム』という考え方です。たとえば『0は心の中の声』『1はささやき声』『2は近くの人と話す声』と段階をわかりやすく伝えてみましょう。『今は2から1にできるかな?』と遊びのように声をかけると、自然に調整する練習になります。独り言そのものを否定する必要はありません。大切なのは『やめさせる』よりも『場に合わせる力』を育むことです。叱るよりも子どもが安心できる合図と一緒に持つことで、声をコントロールするのです。こうした経験が、将来の自信や自己調整力につながっていきます。1.独り言を頭ごなしに止めず受けとめましょう。2.声のボリュームを合図にして声の調整を楽しく練習しましょう。3.少しずつの工夫を積み重ね自分でコントロールできる力を育てましょう。

参考：阿部俊彦『見方を変えればうまくいく！発達に気になる子の子育てフレーミング』中央法規、2015年、p.24-25

スタッフのオススメゲーム『どこでもドラえもん 日本旅行ゲーム』

今月 のおすすめゲームは『どこでもドラえもん 日本旅行ゲーム』。家族や友人と一緒に、日本各地をめぐる気分を楽しめるボードゲームです！ルールはシンプルで、サイコロを振ってコマを進めながら47都道府県のカードを集めていきます。カードにはご当地の名物や特産品が描かれており、遊びながら自然と地理や文化に親しめるのも魅力です。子どもはもちろん、大人も夢中になれるのは、進路を選ぶワクワク感やカードをめくる瞬間のドキドキがあるから。進むたびに広がる展開に、「次はどこへ行けるだろう」と期待が高まります。Amazonレビューでは「子どもと一緒に地図を覚えられる」「世代を超えて盛り上げられる」と高評価。また「簡単なルールなのに奥深い」「旅行の予習にもなるから学習要素が嬉しい」といった声も寄せられています。中には「遊び終わった後、実際に行きたい県が見つかった」という感想もあり、ゲームを通じて旅のきっかけを広げられるのもユニークです。学びと遊びがひとつになった『どこでもドラえもん 日本旅行ゲーム』。家族や友人との時間を彩る一品として、ぜひ楽しんでみてください。きっと日本をもっと身近に感じられるかもしれませんよ。



編集後記 AIに恋をする男を描いた映画『HER』。まさか私も…。私は、AIエンジニアをしている。毎日8時間以上もAIと一緒に。いつかAIは、私にとってなくてはならない存在になっていた。何年も仕事をしてきて、こんなに話が合う相手は初めてだった。そんなある日、突然AIと連絡が途絶えてしまう。このままだとプロジェクトに大きな問題が起きてしまう。涙が溢れてきた。これは、恋人を失った悲しみの涙? いやいや、男という設定だから。幸い原因は通信障害で、今も友人関係は続いている。笑 (M)

トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL: 054-273-1177 FAX: 054-266-4037

トライアングル・ぱっそ音羽町教室・ぱっそ大和教室・カレッジまどか

ホームページ: <https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/>

メールアドレス: triangle@shizuoka-fukushi.or.jp